

平成27年度

**全国学力・学習状況調査の
結果について**



海老名市立杉本小学校

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「理科に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 4
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 5
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 6
(資料) 学習・生活習慣と学力との関係	P. 7



全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが、平成25年度から再び全国すべての小中学校が対象となりました。

なお、今年度実施された「理科」については、3年に一度実施されるものです。

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒

- ・ 小学校第6学年
- ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

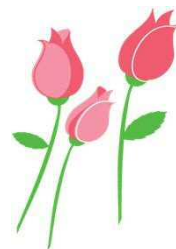
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成27年4月21日(火)



国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 「書くこと」については、各領域の中でもよい結果でした。日頃から、「書くこと」を各学年に応じて指導している結果であると思われます。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことができます。
- 具体的な事例を挙げて説明する文章の書き方の工夫として適切なものを選択できています。
- 与えられた情報の中から必要な情報を読み取ることができます。
- 物語の登場人物の相互関係を捉えたり、情景描写を正しく理解したりすることができます。

《努力を要する所》

- 文の中における主語を捉えることに課題があります。
- 話の内容に対する聞き方を工夫することに課題があります。
- 新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉えることに課題があります。

国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 目的や意図に応じ、新聞の割りつけとして適切なものを選択できています。
- 見出しの表現の工夫についての説明として適切なものを選択できています。
- 目的に応じ、中心となる語や文を捉え、適切な内容を書き抜くことができます。
- 目的に応じ、文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉え文章に書くことができます。
- 登場人物の気持ちの変化を想像し、声に出して読むときの工夫とその理由を書けています。

《努力を要する所》

- 記述式の問題は努力を要します。特に理由を考えて書く問題では、無解答率も高いです。
- 目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くことに課題があります。
- 文章と図を関係づけて、自分の考えを書くことが苦手です。

今後の具体的な取組

- すべての学習の基礎となる「読む・書く・話す」については、毎日の授業の中で繰り返し行うことで定着を図ります。
- 朝読書の時間確保、内容について見直します。
- 自分の考えを話す、書くことについては苦手意識を持っています。教科全般において、考え方を身につけさせるためにも、自分の考えを書いたり、話し合ったりする活動を取り入れるなど、日常の指導を工夫していきます。



算数に関する調査結果

算数 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

【数量や図形についての技能】

- ・繰り上がりのある2位数の加法の計算をすることができます。
- ・除数が整数である場合の分数の除法の計算をすることができます。

【数量や図形についての知識・理解】

- ・小数の減法について、計算の結果のおよその大きさを捉えることができます。
- ・グラフに表されている事柄を読み取ることができます。
- ・式で表現された数量の関係を図と関連付けて理解することができます。

《努力を要する所》

【数量や図形についての知識・理解】

- ・示された三角形が二等辺三角形になる根拠となる円の性質を選択することに課題があります。
- ・円の性質から三角形の等辺を捉え、二等辺三角形の性質から底角の大きさを求めることに課題があります。

算数 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

【数量や図形についての技能】

- ・単位量あたりの大きさを用いて、目的に応じた買い物の仕方を選択し、代金を求めることができます。

【数量や図形についての知識・理解】

- ・平行四辺形の性質を基に、平行四辺形を構成することができる辺の組み合わせを理解できています。

【数学的な考え方】

- ・切り上げた場合の見積もりの結果を基に目標に達しているかについて判断できます。

《努力を要する所》

- 選択式はよくできますが、考え方を記述する問題は努力を要します。また、無解答率も高いです。

【数学的な考え方】

- ・示された情報から基準量を求める場面を捉え、比較量と割合から基準量を求めることに課題があります。
- ・正三角形の性質を基に、示された周りの長さから辺の長さが等しくなる位置を求めることに課題があります。

今後の具体的な取組

- ・「基本的な数量や図形についての知識・技能」は、ドリル学習等を活用し、今後も繰り返すことにより定着を図ります。
- ・「数学的な考え方」においては知識・技能の定着の上に【図や式や言葉で理由を説明できる】【数値を根拠として説明できる】などの活用する力を高められるように指導の工夫・改善を図ります。
- ・校内研究〈算数〉を通し、「互いに伝え合い考えを高め合う子の育成」をめざし、研究を積み、深めていきます。



理科に関する調査結果

《優れている所》

【観察・実験の技能】

- ・器具（メスシリンダー）の名称を正しく理解しています。《物質》

【自然事象についての知識・理解】

- ・メダカの雄雌を見分ける方法を理解しています。《生命》
- ・水蒸気は水が気体になったものであることを理解しています。《物質》

【科学的な思考・表現】

- ・振り子時計の調整の仕方を調べるための実験について、条件を制御しながら構想できます。《エネルギー》
- ・打ち水の効果について、グラフを基に地面の様子と気温の変化を関係づけながら考察して分析できます。《地球》

《努力を要する所》

- 選択式、短答式はよくできますが、記述式の問題は努力を要します。
- 方位、月、星座については、基礎的・基本的な知識・技能の定着、活用に課題があります。

【科学的な思考・表現】

- ・方位を判断するために、観察した事実と関係づけながら情報を考察して分析することに課題があります。《地球》
- ・植物の適した栽培場所について、成長の様子と日光の当たり方から適した栽培場所を選び、選んだわけを書くことに課題があります。《エネルギー》
- ・温度の変化に伴って析出する砂糖の量について、グラフを基に考察し分析することに課題があります。《物質》

今後の具体的な取組

- ・方位、月、星座について基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るために、日頃から生活している場所での方位を感覚的に捉え、事前に方位を意識しながら月や星の観察ができるように指導を工夫します。
- ・科学的な見方や考え方を養うために、実験の結果を整理し、考察・分析して表現する学習活動を取り入れるよう指導の工夫・改善を図ります。
- ・理科の授業で学んだことを生活とのかかわりの中で見直し、自然の事物・現象についての実感を伴った理解を図る学習活動を重視します。



児童質問紙の結果より

学習について

- 〈よかった所〉
- 96%の児童が家で宿題に取り組んでいます。
 - 80%以上の児童が、国語・算数・理科の勉強を大切だと思っています。
 - 多くの児童が好んで読書をします。
 - 感想文や説明文など「書く」ことに抵抗を感じている児童は少数です。
 - 算数の授業では、問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いています。
 - 100%の児童が自然観察や自然の中で遊ぶ経験をし、87%の児童が、観察や実験を行うことを好きと回答しています。

〈課題と思われる所〉

- 宿題には多くの児童が取り組んでいますが、進んで予習や復習に取り組んでいる児童はあまりいません。
- 授業中にわからないことがあっても、質問を躊躇しがちです。
- 文章で解答する問題に対しては、全く解答しなかった児童もいます。
- 国語B、算数Bの活用問題では、多くの児童が解答に時間を要します。
- 理科の勉強は好きですが、国語と算数はあまり好きではありません。

生活について

- 〈よかった所〉
- 95%の児童が毎朝朝食を食べています。
 - 活動後、達成感や充実感を味わう経験をした児童が90%います。
 - 友だちと話し合うとき、96%の児童が友だちの話や意見を聞くことができます。
 - 多くの児童が、将来の夢や目標を持って生活しています。
 - ほとんどの児童が、テレビやインターネットでニュースを見ています。

〈課題と思われる所〉

- 半分の児童が人前で自分の考えを発表することを苦手と感じています。
- 読書は好きですが、学校図書館や地域の図書館はあまり利用していません。
- 地域や社会で起こっている問題や出来事への関心が薄いです。
- テレビやインターネットでニュースを見ますが、新聞はあまり読んでいません。

今後の具体的な取組

- 児童が学校生活を楽しいと感じ、生き生きと活動できるように工夫していきます。
- 家庭学習の方法や内容を工夫したり、予習・復習の大切さについて指導したりします。
- 主に、国語や総合的な学習の時間などを中心に、新聞を用いた授業を取り入れたり、新聞のよさについて考える時間を設けたりして、新聞に親しむ機会を設定します。
- 蔵書を見直したり、図書支援員や図書ボランティアの活用により、学校図書館の利用が増えるようにします。
- 分からないことをすぐに聞いたり、友達の前で堂々と意見を述べたりできる雰囲気の学級づくりに努めます。



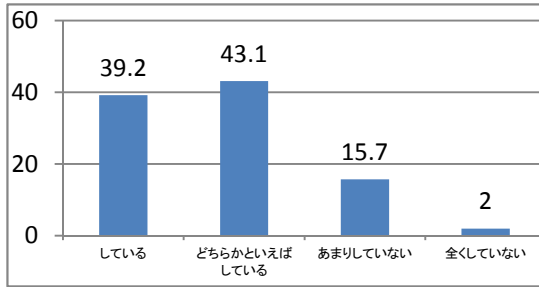
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成27年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい項目」をまとめました。ご家庭で振り返り、できることから、ぜひ、始めてみてください。

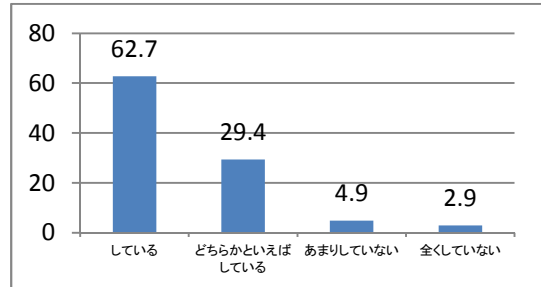
1 規則正しい生活習慣を大切にしましょう。

規則正しく生活していると答えている割合が多いですが、朝眠そうにしている子どもが増えてきています。夜の就寝時刻は遅くなってきていませんか。早寝早起きを心がけ、家庭内でも朝元気にあいさつをしましょう。

毎日、同じくらいの時間に寝ていますか。



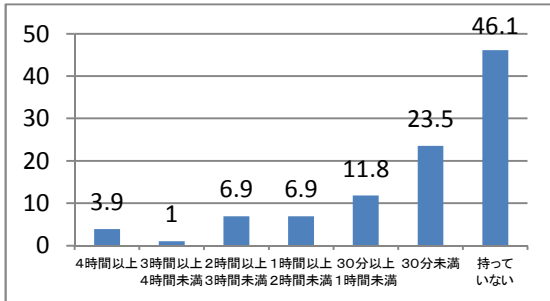
毎日、同じくらいの時間に起きていますか。



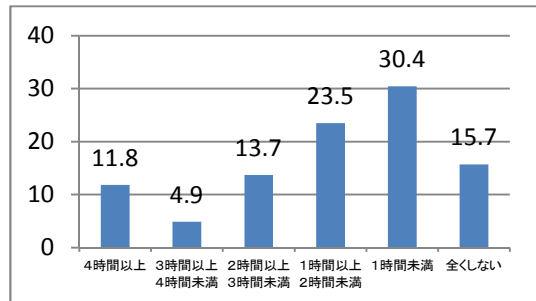
2 ルールを決めて使用しましょう。

調査した春に比べて、携帯電話やゲームの使用時間が長くなっていませんか。使用時間を決めて使わないとなかなかやめられないものです。インターネット(ゲーム、ソーシャルネットワークサービス、メールなど)でのトラブルにも気をつけましょう。定期的にご家庭で話し合い、ルールを見直しましょう。

普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。



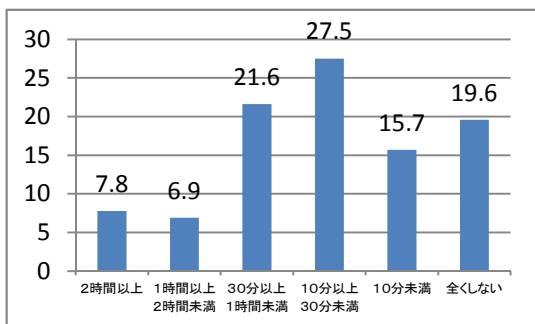
普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。



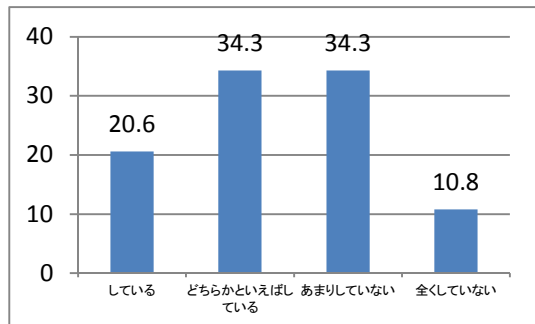
3 計画的に家庭学習に取り組みましょう。

読書を通して、他者の考え、意見、事実を知ることができます。読書の習慣化を図りましょう。また、自学自習の力をつけるために、計画を立てて実践する力をつけていきましょう。

学校の授業以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間読書をしますか。



家で、計画を立てて勉強をしていますか。



文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

児童・生徒の学習・生活習慣と学力との関係

次のような児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数、理科に対する関心・意欲・態度が高い

【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて勉強をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の方は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【メディアとの関係】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い



平成27年11月